

## Critical Appraisal Worksheet -⑥

害 Harm	aihara	2011/01/18
--------	--------	------------

医学文献ユーザーズガイド 第12章を参照

このシートは「JAMA 医学文献ユーザーズガイド第2版」を利用し EBM を理解するための補助ツールです。本シートに記載されている項目は、書籍「JAMA 医学文献ユーザーズガイド」及び、オンライン JAMAevidence (2011年1月時点) に発表されているものです。表内の青色で示すイタリック表示部は、JAMAevidence や McMaster 大学の EBM working group (Guyatt 教授より提供, 2008) のワークシートを参考としているため、書籍内容と異なっている場合があります。本シートは自由に利用してかまいませんが、間違いや改善点がありましたらご連絡ください(相原: ezy01757@nifty.ne.jp)。

引用	
----	--

I 結果は妥当か	
1	<p><b>コホート研究において、懸案の曝露は別として、曝露群と対照群は、研究開始および終了時点で、そのアウトカムに対して同じリスクを有していたか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 患者は、アウトカムと関連性が知られている予後因子が似ていたか(あるいは統計的調整によって公平が確保されていたか)</li> <li>• アウトカムの検出状況と手法は似ていたか</li> <li>• 追跡は十分に完了しているか</li> </ul>
2	<p><b>症例対照研究において、症例群と対照群は、過去に曝露に対して同じリスク(可能性)を持っていたか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 曝露を引き起こすような適応や状況は症例と対照で似ていたか</li> <li>• 曝露の検出状況と手法は、症例と対照で似ていたか</li> </ul>

II 結果は何か	
1	<p>曝露とアウトカムの関連性はどれくらい強い か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• リスク比(RR)もしくはオッズ比(OR)はどれほど か</li> <li>• 曝露とアウトカムの間には用量反応関係があ るか</li> </ul>
2	<p>リスクの推定はどれくらい精確か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• リスク比もしくはオッズ比の信頼区間はどれ ほどか</li> </ul>

III 結果を患者のケアにどのように適用できるか		
1	<p>研究患者は、自身の診療における患者と似 ていたか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• あなたの患者は結果を適用できないかもしれ ないほど、その研究患者と違っているか</li> </ul>	研究結果を患者に適用しない理由はない
2	<p>追跡期間は十分長期間だったか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 研究参加者は、重要な有害効果を確認する のに十分なほど長期に観察されたか</li> </ul>	
3	<p>曝露は、自身の患者に発生するかもしれな いものと似ているか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• あなたの患者に、曝露（用量、服用期間など） における重要な違いがあるか</li> </ul>	
4	<p>リスクの大きさはどれほどか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 研究の曝露によって増幅される害のベースラ インリスクはどの程度か</li> </ul>	
5	<p>曝露との関連が認められている利益はある か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• あなたが担当しているような患者における利 益と害のバランスはどうか</li> </ul>	

まとめ	

コメント: